



# Zscaler Business Analytics: グローバルに分散した組織に最適なビジネス インサイト

Zscaler のデータから得られる実用的なインサイトは、大規模な分散型企業が抱えるコストやリスクの課題に適切に対処することで、ビジネスを前進させます。

## インサイトの欠如がビジネスの障害に

ビジネスを成功させるうえで、アプリケーション、ネットワーク、セキュリティの変革は不可欠です。IT リーダーは常に、リスクを許容範囲内に抑えながらコストを管理するという課題を抱えていますが、これには、より一層重要視されているサイバー リスクだけでなく、エンド ユーザーのデジタル エクスペリエンスの低下というリスクも関連してくるため、利益と生産性の両面で犠牲を強いられる可能性があります。

デジタル トランスフォーメーションのコストとリスクを特定するために必要なデータは、複数の部門間に分散している可能性があります。そのデータを集約するのは容易ではありません。また、利用できるデータだけでは効果的な意思決定には不十分な場合もあります。デジタル トランスフォーメーションを成功させるには、これらのインサイトにアクセスし、傾向を視覚化する新しい手法が必要です。

多くの組織が Zscaler を主要なパートナーとして採用し、デジタル トランスフォーメーションの鍵となる側面に着手しています。そして、Zscaler Business Analytics を利用することで実用的なインサイトを入手し、安全で効率的かつ生産的なデジタル トランスフォーメーションの実現に焦点を当て、その歩みを進めています。

Business Analytics により、IT リーダーは従業員のパフォーマンスを向上させることでリスクとコストを削減できると同時に、サイバー リスクを軽減し、SaaS コストとオフィス使用率を最適化することもできます。これらはすべて現在導入している Zscaler 環境で実現できるため、新しいツールやベンダーを採用する必要は一切ありません。

Zscaler Business Analytics は、次の点において企業をサポートします。

- エンド ユーザーのデジタル エクスペリエンスを強化して、生産性の高いネットワークとアプリケーションの変革をサポートする。
- サイバー リスクを定量化して軽減し、よりプロアクティブなサイバー リスク ポスチャーとセキュリティ トランスフォーメーションを実現する。
- 不要なテクノロジー 支出を特定して各拠点の使用状況を最適化し、効率的なアプリケーション トランスフォーメーションを加速させる。

## 主要製品

### Zscaler Risk360™

サイバー リスクを定量化し、視覚化する総合的なフレームワークでセキュリティ リーダーをサポート

Zscaler Risk360 は、総合的なリスク定量化および視覚化フレームワークで、Zscaler 環境と外部ソースから実際のデータを取り込み、潜在的なサイバーリスクや予測される財務的影響に関するインサイトを引き出します。この製品により、取締役会向けレポート作成の合理化、AI を活用したサイバー セキュリティ評価の提供、MITRE ATT&CK などのリスク フレームワークへのセキュリティ制御のマッピングが可能になります。



### Zscaler Business Insights

ワークスペースをより効率的に活用しながら、SaaS のスプロール化を阻止

アプリケーショントランスフォーメーションを低コストで推進するために必要なインサイトを IT、人事、ワークスペースと施設管理のリーダーに提供します。

SaaS アプリの使用状況とコストだけでなく、オフィススペースの使用傾向も可視化することで、コストを削減し、オフィス再開に向けた取り組みをより計画的に進められるようになります。



### Zscaler Digital Experience

アプリ、ネットワーク、デバイスの問題を迅速に検出して修正することでユーザーの生産性を維持

ユーザーの場所やデバイス、ネットワークに関係なく、アプリやサービスのデジタル エクスペリエンスを「ユーザーの視点から」確認できます。

エンドユーザーの視点からデジタル エクスペリエンスを監視し、パフォーマンスを最適化しながら問題のあるアプリケーションやネットワーク、デバイスを迅速に修正します。

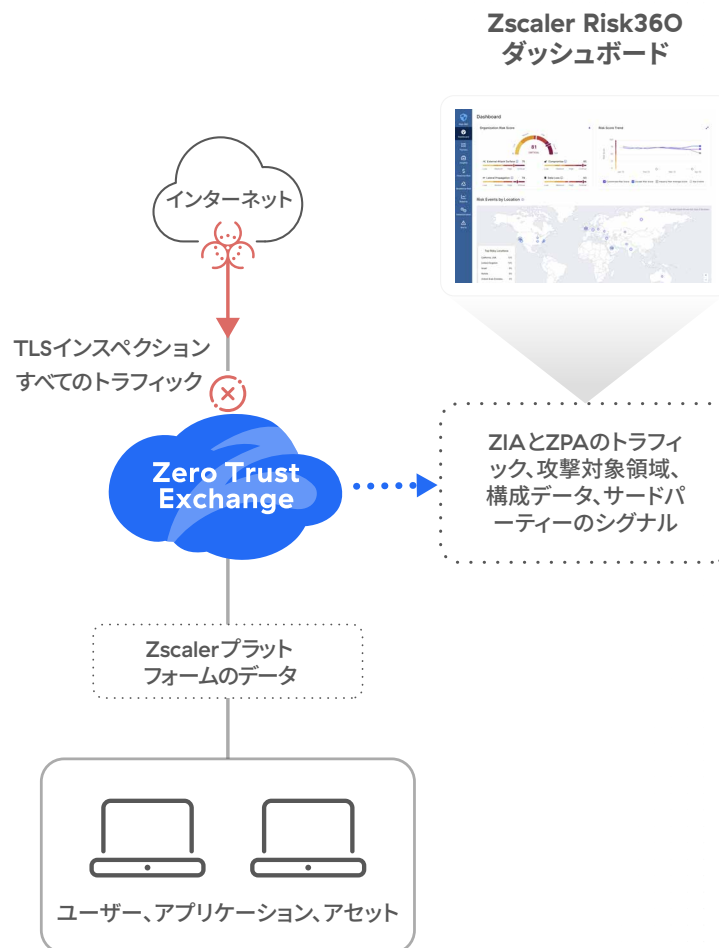


## 主なメリット



### Zscaler Risk360

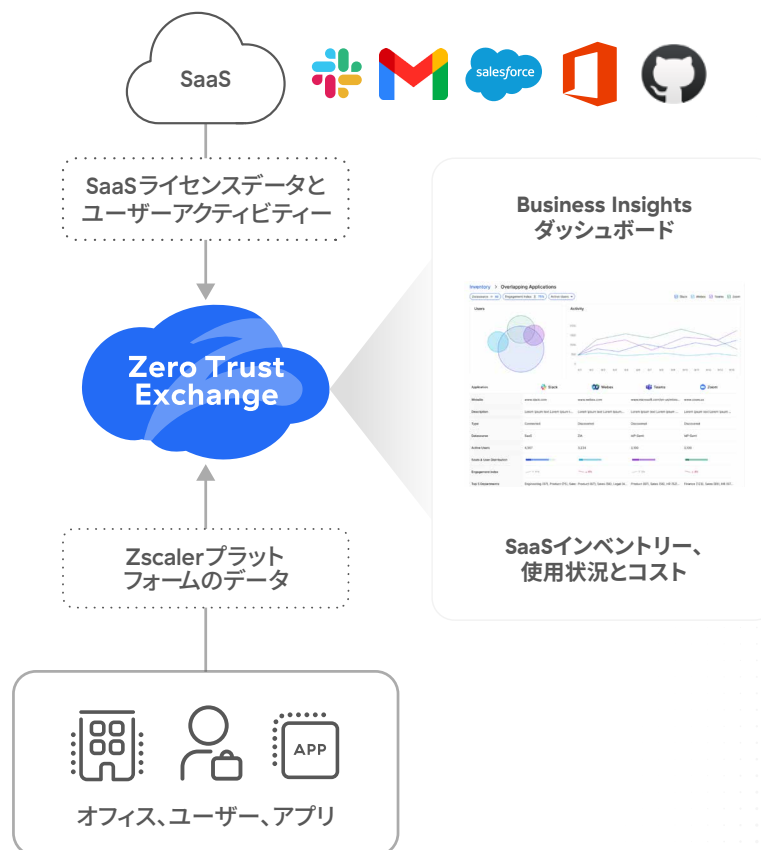
- ✓ **強力なリスク定量化機能**により、ビジネスを脅かすようなサイバーリスクや財務上のリスクを追跡できます。
- ✓ **サイバーリスクを高める主要な要因を把握**し、その要因についてさらに詳しく確認することが可能です。
- ✓ **サイバーリスクの自動測定**プロセスにより、スプレッドシートやサードパーティー ツールを監視するチームの負担を軽減できます。
- ✓ **より効果的でプロアクティブなセキュリティ態勢**を実現できます。デバイス、システム、データ、ユーザーに至るまで、リスクとなっている主要な問題を先回りで軽減することが可能です。
- ✓ **リスクに関するより生産的な議論**を経営陣と行えるようになります。一貫したリスク スコアリング、リスク フレームワーク マッピング、SEC コンプライアンスのサポート、そして取締役会向けの合理的なレポート作成機能が役立ちます。



## Zscaler Business Insights



- ✔ **SaaS アプリの使用状況の最適化**：SaaS アプリケーションの使用状況を把握することで、IT リーダーは冗長なアプリケーションを削除し、特定のユーザー グループのアクセスを利用パターンに基づいて制限できるようになります。
- ✔ **オフィススペースの効果的な活用**：各部門の時間ごとのオフィス使用状況を週、月、または四半期単位でレポートを生成できるため、人事部門やワークスペースと施設管理部門のリーダーはデータに基づいたオフィスのキャパシティー管理計画を策定できます。
- ✔ **コスト削減の推進**：詳細なインサイトと予測可能なコスト削減モデルにより、IT、人事、不動産と施設管理のリーダーは、アプリケーションや職場の変革においてコスト削減を推進できます。
- ✔ **Zscaler との完全な統合**：導入済みの Zscaler の環境をそのまま利用して、よりスマートなアプリケーショントランスフォーメーションを加速させます。新しい実装は一切不要で、必要なのはログインのみです。



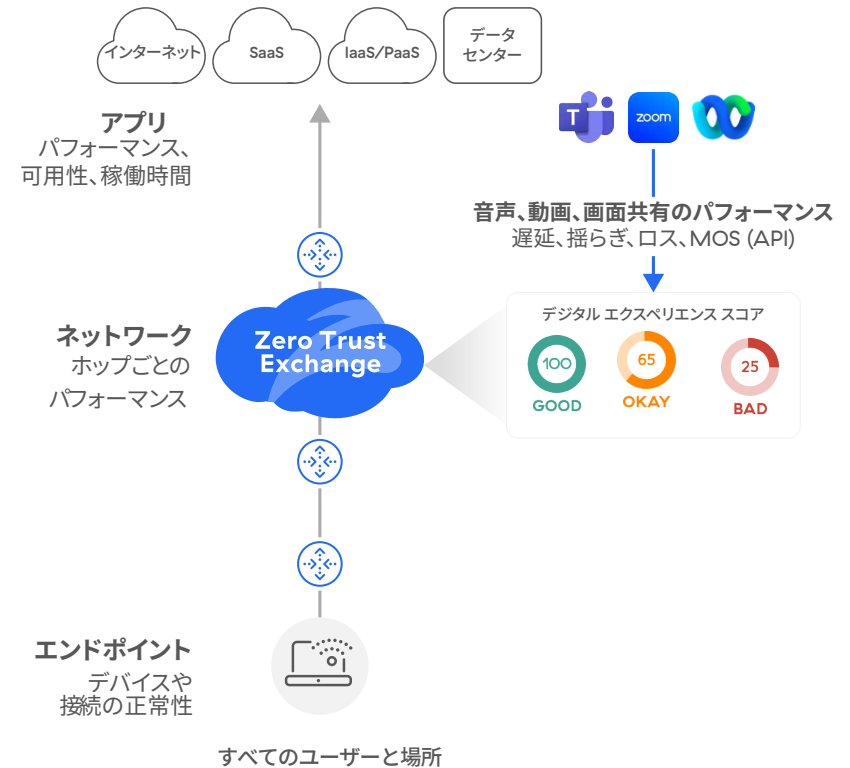
## Zscaler Digital Experience



- ✓ **ユーザー エクスペリエンスの監視**：ユーザーの場所やデバイス、ネットワークに関係なく、アプリやサービスのデジタル エクスペリエンスを「ユーザーの視点から」確認できます。
- ✓ **問題をよりスピーディーに解決**：シームレスなユーザー エクスペリエンスを確保し、ユーザーがすぐに作業を再開できるようにします。
- ✓ **アプリケーションのパフォーマンスの維持**：アプリを監視して、ユーザーに中断のないサービスを提供します。
- ✓ **ネットワークインサイトの入手**：必要なネットワークの可視性を確保し（制御対象外のネットワークも含む）、オフィスや自宅で作業するユーザーをサポートします。
- ✓ **デバイスインサイトの入手**：組織で使用されているさまざまなデバイスやソフトウェアを把握し、デバイスがどこにあっても詳細なインサイトを入手できます。
- ✓ **詳細なレポートの活用**：デジタル エクスペリエンスへの取り組みが従業員の生産性に与える影響を確認しながら、傾向を把握して最適化の機会を特定します。

## エンドポイントからアプリまでを可視化

エンドポイントからアプリまでの  
継続的なパフォーマンス分析



| Experience your world, secured.™

Zscaler (NASDAQ: ZS) は、より効率的で、俊敏性や回復性に優れたセキュアなデジタルトランスフォーメーションを加速しています。Zscaler Zero Trust Exchange は、ユーザー、デバイス、アプリケーションをどこからでも安全に接続させることで、数多くのお客様をサイバー攻撃や情報漏洩から保護しています。世界 150 拠点以上のデータセンターに分散された SSE ベースの Zero Trust Exchange は、世界最大のインライン型クラウド セキュリティプラットフォームです。詳細は、[zscaler.jp](https://www.zscaler.jp) をご覧いただくか、Twitter で [@zscaler](https://twitter.com/zscaler) をフォローしてください。

© 2023 Zscaler, Inc. All rights reserved. Zscaler™, Zero Trust Exchange™, Zscaler Internet Access™, ZIA™, Zscaler Private Access™, ZPA™, [zscaler.jp/legal/trademarks](https://www.zscaler.jp/legal/trademarks) に記載されたその他の商標は、米国および/または各国の Zscaler, Inc. における (i) 登録商標またはサービスマーク、(ii) 商標またはサービスマークです。その他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。